



広報

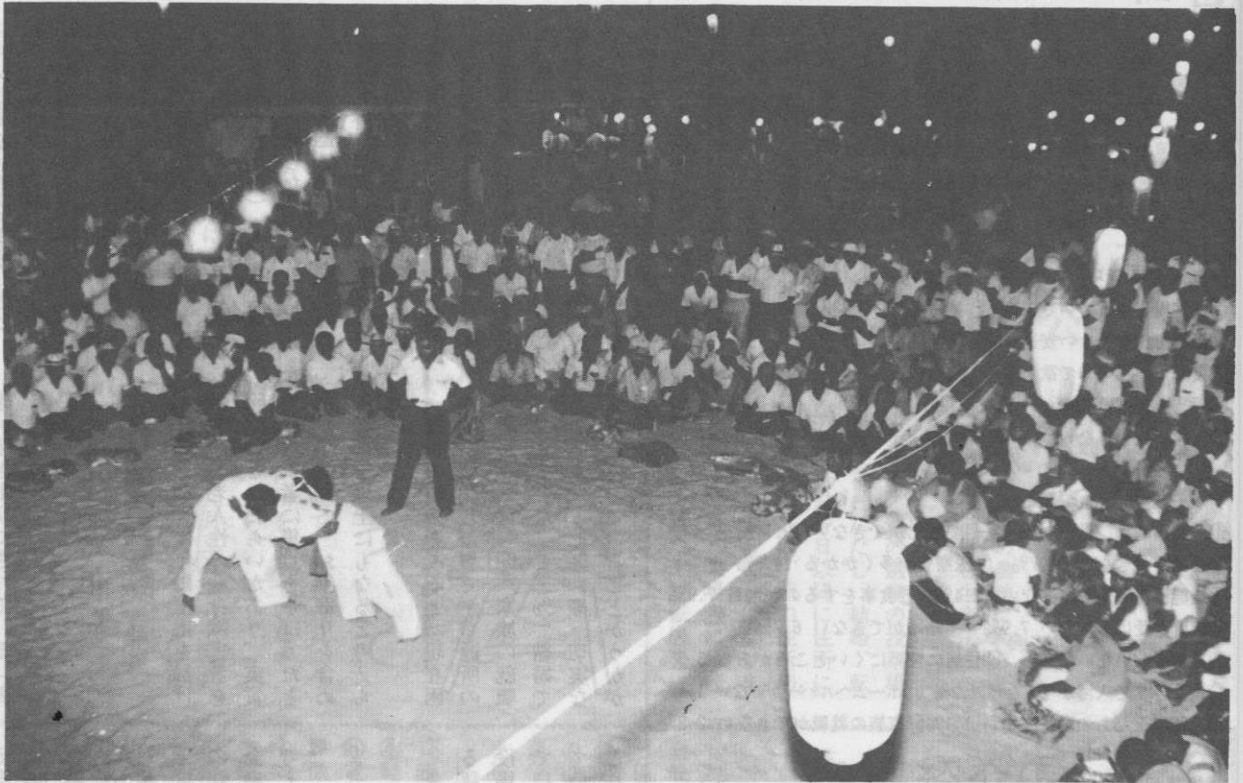
No.70



なまきじん

1981 9月

村章 (毎月1日発行)



▲盛大に開催された第2回今帰仁村まつり

村民の融和と村の限りない発展を目的として行なわれた村まつりは、8月29日盛大に行なわれた。2日目は台風の影響で延期となったが、1日目のパレード、斗牛大会、全島角力大会、民謡ショーは、延べ1万5千人の人出でにぎわった。(写真=全島角力大会)

今帰仁村の人口(昭和56年7月31日現在)

人口 10,031 (-18)

()内は前月比



5,100人(+5)



4,931(-23)



世帯数 2,778戸(0)

編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係

〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話 098056-2101

印刷：沖縄高速印刷株式会社

南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

- 二、村社会福祉協議会が
心身障害者実態調査を実施
- 三、九月十三日は
農業委員選挙の投票日
- 四、三十四年後には二倍に
かけ足でくる高齢者社会
- 五、村民コーナー 私の一言
- 六、歌づくりで豊かなふるさとに
横浜市長 真栄田義永
- 七、女子バレー・剣道・沖縄角力の
三項目に優勝
- 八、好成績をおさめた村チム
(郡球格技大会)
- 九、トビックス
海と空の青さに魅せられて
- 十、村教育委員会だより
- 十一、バジ子緊急調査おわり
- 十二、保健婦だより
- 十三、子宮ガン検診の結果について

目次

村社会福祉協議会が

心身実態調査を実施

今後の福祉行政に活用

身障者問題が 浮きぼりに

村社会福祉協議会（松田幸福会長）では、国際障害者年の事業の一環として、村内の九九九人（男一四七人、女一五二人）の心身障害者（児）を対象に実態調査を実施した。

この調査は、七〇歳以下の心身障害者や幼児の対象者の実態を把握しようというものである。内容は、毎日の生活の状況や障害の状況、就職の状況、訓練の有無、現在困っていることなど、十五項目からなり、これらの調査によって、いま村の身障者のかかえている問題、社会に対する要望

まだまだ低い 社会の認識

まず、調査に年齢上限を設けたのは、老人性の心身障害者を除くことにはねらいがあり、実質的な対象者に焦点を絞ったという。従って、お年寄りを含めると二倍以上にもなると考えられる。

調査の結果をみると、現在困っていることとして、近所の理解がない（二一％）家族の就職ができない（二二・二％）結婚できない（六・七％）等、切実な悩みを持っていることがうかが

組織化を 早急に促進

今日の調査では、社協に対する認識が少ないということと、役場で把握している人数と社協で把握している人数がくい違っていることがあげられている。これは、心身障害者や家族が、

そのことを他人に知られたくない——ということにも原因があると考えられる。

村社協としては、今回の調査をもとに、

- ①身障者の組織化を図る（身障協の促進）
- ②地域住民の理解を深めるための福祉教育の実施
- ③役場がやることと、社協がやるべきことを明確化することをあげており、これらの問題解決のために、今後活動を強化していくことにしている。

心身障害者実態調査

（紙面の都合により抜粋）

—日常生活について—

①移動(自分で可能)	90.7%	介助すれば可能	4.1%	不可能	5.2%
②排せつ	89.2%	"	5.4%	"	5.4%
③食事	94.3%	"	2.2%	"	3.5%
④入浴	80.4%	"	11.3%	"	8.3%
⑤階段の昇降	73.1%	"	16.1%	"	10.8%
⑥外出	73.6%	"	15.4%	"	11.1%
⑦会話	77.7%	"	9.6%	"	12.7%

—治療・訓練の有無—

①病院、診療所	77.6%	②利用したことがない	3.6%
③情緒障害児の学級	3.6%	④児童相談所	2.9%
⑤精薄児施設	1.9%	⑥精薄児通園施設	1.9%
⑦重症心身障害児施設	1.9%	⑧その他	4.7%

—友人の有無—

①障害児を持っている友達も、持っていない友達もいる	59.3%
②障害を持ってない友達がいる	18.7%
③友達がいなくて欲しい	8.8%
④障害を持った友達がいる	6.6%
⑤友達は欲しくない	6.6%

—現在困っていること—

①公共の乗物(バス、タクシー)で外出ができない	19.1%
②就職ができない	15.7%
③医療費が多くかかる	14.6%
④機能回復訓練ができない	12.4%
⑤食事をするのが困難	7.9%
⑥教育が受けられない	7.9%
⑦結婚ができない	6.7%
⑧介助者がいない	5.6%
⑨住居に使いにくいところがある	3.5%
⑩寝たきりで入浴ができない	2.2%
⑪ホームヘルパーがいない	1.1%
⑫近所の人たちの理解がない	1.1%
⑬家族の就職ができない	2.2%

—相談相手について—

①兄弟	17.9%	②親類	14.9%	③民生委員	14.4%	④親	11.4%
⑤村役場	8%	⑥専門の先生	6.5%	⑦心配ごと相談所	6.5%		
⑧社協	6%	⑨近所の人	4%	⑩同じ悩みを持つ人	1.5%		
⑪上司・先輩	1%	⑫相談する人がいない	2%	⑬その他	5.4%		

—就職の有無—

①している	38.3%	②していない	61.7%
-------	-------	--------	-------

—将来の就職の意思—

①したい	26.5%	②したくない	73.5%
------	-------	--------	-------

—社協や身障協への要望—

①機能回復訓練施設の設置	17.8%
②障害者の就職の世話	19.2%
③地域住民の理解を深めるための努力	9.6%
④社会福祉施設見学の企画	5.5%
⑤昼間障害児を預る所の設置	4%
⑥親子が一緒に集会できる場所の設置	1.4%
⑦遊び相手の派遣	1.4%
⑧親子のピクニック	1.4%
⑨特になし	30.1%
⑩その他	9.6%

九月十三日は

農業委員選挙の投票日

★十七人を公選★

九月三〇日の任期満了に伴う今帰仁村農業委員の選挙が、九月十三日に執行されます。

委員は選挙と推薦により選出

農業委員会は、沖縄では歴史が浅くないもののうすいものですが、本土では昭和二六年に設置され、その業績も大きいものです。各市町村に一つづつ設置されており（特例として無いところと、二つある市町村もある）主にその区域の農地の利用調整自作農の創設維持、農地の交換分合、農地にかかわる争議の防止、振興計画の策定及び実施等を行っています。農業委員会は、選挙による委員と、議会、農協、農業共済組合等から推せんされ村長が任命する委員とで構成さ

選挙権について

- ①村内に住所のある方で、今年の一月一日現在十アール以上の農地に耕作の業務を営む二〇歳以上の方
- ②①の者の同居の親族で、今年三月三十一日までに二〇歳に達し、さらに六〇日以上耕作に従事している方

選挙人名簿の縦覧について

昭和五六年選挙人名簿の定時登録が九月二日に行われ、縦覧に供されます。

なお、今回の登録は

- ◎昭和三五年九月三日から三六年九月二日までに生まれた者で、昭和五六年六月一日に今帰仁村に住所を有していた者。
- ◎昭和五五年六月二日から、五六年六月一日までに今帰仁村に



各課紹介⑤ 課 務 課

村税の賦課徴収や評価を担当

税務課は、ご存知のように税金全般を扱う課です。

係は、これまで第一係、第二係と呼ばれていましたが、今回の機構改革で、住民税係、固定資産税係と呼ばれるようになりました。

- ④納税奨励に関する事など
- 次に固定資産税係の業務は
- ①固定資産税の賦課・徴収
- ②固定資産税台帳に関する事
- ③固定資産評価審査委員会に関する事、となっています。
- 税務課では、各種証明を発行していますが、所得証明を除く。資産証明、評価証明、納税証明、その他の証明は、本人以外がもらう時、その本人の委任状が必要となりますので、ご注意ください。また、これらの証明料のお支払いは、今帰仁農協役場内派出所（税務課横に新設）になりますので、あわせてご了承下さい。

課長は、平田喜直氏で、各係の業務は次のとおりとなっています。

- ①住民税の業務は
- ②軽自動車税その他諸税の徴収
- ③納税組合組織の奨励

雄徳信子	生悟男
正栄幸千	展多美子
間里川	嘉田城儀
上島新石	諸上山与
長係	係長
住民税	固定資産税係
住民税	固定資産税係
住民税	固定資産税係
住民税	固定資産税係

課長 平田喜直

34年後には2倍に かけ足でくる高齢者社会

9月15日は 敬老の日 お年寄の 生きがいを考えよう

九月十五日は「敬老の日」です。この日から一週間は「老人福祉週間」です。敬老の日は、長い間社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し長寿を祝うとともに、高齢者社会問題についてみんなで考えようという日です。

いま、全国においては百人のうち十六人が六十五歳以上のお年寄り、これが三十四年後の昭和九十年には十八人と二倍に増えると予測されています。わが今帰仁村内では、今でも百人のうち十六人が六十五歳以上の方で、三十四年後にはおそらく全国平均をかなり上回る事が予想されます。

三十四年後に六十五歳になる人、つまりお年寄りの仲間入りをするのは、いま働き盛りの三十一歳。よく言われる高齢者間

題というのは、なにもお年寄りだけの問題ではなく、若い人たちのやがて直面しなければならぬテーマであり、そして社会全体の大きな課題です。

敬老会 九月十五日・二時 役場ホール

村では、村内の七十五歳以上の方々を対象に、敬老の日の九月十五日、午後二時から役場ホールにおいて「敬老会」を催します。当日は、記念品や盛りだくさんの余興も準備してありますので、多数のご来場をお待ちします。

また、村内で今年白寿を迎える方が四人、米寿を迎える方が二人おられます。村としてもこれらの方々に対し、記念品と見舞金を贈り、ともに長寿をお祝いすることにしています。

ある家庭での話です。「畑仕事を続けたい。ツルがもう一メートルにも伸びた。いま手入れしないと、いいカボチャがでかない」

おじいさんは、畑仕事で唯一の楽しみでした。近くの農家から借りた、狭いながらも自分の畑に通い、四季折々の野菜づくりにいそしむことに日々の喜びを感じていました。娘夫婦と三人の孫にいつも新鮮な野菜を食べさせたい。これがおじいさんのなにより生きがいであったのです。

ところが、ある日、娘さんから「少しは体のことも考えてください」と、野菜づくりを禁じられてしまいました。

娘さんにしてみれば、おじいさんが、畑仕事には直接ひびかないものの軽い腰痛を訴え、それに下痢がみだつたことから、しばらくのんびりしてからもおうちで考えてのことでした。

この日以後、おじいさんは部屋に引きこもりがちになり、その上、悪いことに生来の持病まで再発してしまつたそうです。

これは極端な例かもしれませんが、この話には、わたし

人生に定年なし 思いやりが 生きがいを奪うことも

「お年寄りに対する思いやり」が逆に「生きがいを奪う」結果を招く場合が、往々にしてあるということだ。

総理府が行った「高齢化問題に関する世論調査」(昭和五十五年七月)によりますと、「老後はどのようなことを境に始まるか」に対する主な回答は、次のようになっています。

仕事をやめた時	23%
年金をもらう時	21%
これを男性だけにいつてみますと「仕事をやめた時」が三八%でトップを占め、一般に言われる「定年後グツとふけこむ」	30%

体の方が生きがいを奪うということがある、なるほどという感じがします。つまり「意欲を失う」ことが老化を速めているといつていいでしょう。

お年寄りの生きがいを考えるとき、わたしたちが心したいのは「積極的に生きようとする意欲を奪ってはならない」これが基本です。人生には定年がないのですから。

村内一の長寿(100歳)		
① 上間	タマ	字今泊3084
今年白寿を迎えた方		
① 新城	盛	慈 字今泊3131
② 新島	袋	盛 ナ 字諸志137
③ 大玉	城	マ 善 字与那嶺185
④ 大玉	城	善 良 字古宇利76
今年米寿を迎えた方		
① 与那嶺	マ	ツ 字仲尾次258
② 仲宗	根	カ 字与那嶺510
③ 上大	間	城 字崎山178
④ 上大	上	玉 字越地30
⑤ 上大	上	玉 字幸ツカウ40
⑥ 上大	上	玉 字幸ツカウ196
⑦ 上大	上	玉 字幸ツカウ396
⑧ 上大	上	玉 字幸ツカウ207
⑨ 上大	上	玉 字幸ツカウ925-29
⑩ 上大	上	玉 字幸ツカウ233
⑪ 上大	上	玉 字幸ツカウ851
⑫ 上大	上	玉 字幸ツカウ2275
⑬ 上大	上	玉 字幸ツカウ403
⑭ 上大	上	玉 字幸ツカウ809
⑮ 上大	上	玉 字幸ツカウ1037
⑯ 上大	上	玉 字幸ツカウ513
⑰ 上大	上	玉 字幸ツカウ1132
⑱ 上大	上	玉 字幸ツカウ959
⑲ 上大	上	玉 字幸ツカウ1036
⑳ 上大	上	玉 字幸ツカウ1196
㉑ 上大	上	玉 字幸ツカウ1059
㉒ 上大	上	玉 字幸ツカウ172
㉓ 上大	上	玉 字幸ツカウ136
㉔ 上大	上	玉 字幸ツカウ20
㉕ 上大	上	玉 字幸ツカウ70



歌づくりで 心豊かなふるさとに

横浜市鶴見区北寺尾七十六一五 真栄田 義永

故里をはなれてみると、朝夕故郷の風物・友人知人のことが心に往來して、あれはどうなっているだろうか、彼は今頃どうしているだろうか、と絶えず気になるものである。

幸い、友人が「広報なきじん」を毎月贈ってくれるので、お互いの村の政治行政、産業、教育万般のことがわかる。自分の故里のどんな発展していく姿に接することは、心強く、たのしく、楽しいものである。

さて、当地でも村づくり、町づくりと、各市町村ともはり切っている。老人クラブも健康づくり、村の文化向上にと、短歌、俳句、川柳、舞踊、民謡などがなかなか盛んである。

お互いの「広報なきじん」でも紙面に琉歌、短歌等をのせたら如何なるものでしょうか。産業経済の豊かな発展とともに、文化面の発展にもつながり、心豊かな村づくりになるのではないのでしょうか。私は短歌を研究

しているものではないが、とき折り心に浮んだものを三十一文字にして書きためた「うたのくづ籠」から、一つ二つを。

老妻と乙羽の山にのぼる

○ときめきは すでになけれど
ふるさとの 乙羽の山に 老妻とのほりぬ

○雑草を ふみわけのぼる
羽山 みかんの実朱く 色づきふたり

○山頂に 足をとどめて 見はるかす わが故里は 美しきかな

運天港にて

○定期バス のる人もなく
あ たふたと 発ちゆく姿 じつと見送る

○戦ひに たはれし山北の 武士の 末路は悲し 百按司の墓

○運天の 港の波も しずまりて
つり舟二隻 沖に出てゆく

北山城址にて

○紺碧の 海をゆく船 はるか

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。

村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。

なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所氏名、職業を添えて下さい。

※あて先
今帰仁村字仲宗根二一九
村役場総務課秘書広報係
(TEL)二二〇一

仲尾次チームが 県大会へ

北部代表として出場



去る八月十八日、名護市で行われた第一回北部地区ゲートボール大会(主催 北部地区老人クラブ連合会)で、仲尾次チーム(今帰仁B)が見事に優勝を飾りました。この大会には北部地区内の十七チームが参加し、炎天下で熱戦をくり広げました。

今帰仁村代表として出場した仲尾次チームは、予選リーグ二勝一敗、決勝リーグ三勝をあげ優

勝したもので、九月六日、沖縄市で開催される沖縄県大会へ出場することになりました。

なお、県大会へ派遣される仲尾次チームの選手は、監督一渡名喜長栄、選手一國吉真栄、大城源福、田場盛重、内間盛栄、与那嶺新蔵、山内昌一、与那嶺鉄の皆さんです。中央大会に出場するこれら選手の方々に皆さんのご声援をお願い致します。

▲北部地区ゲートボール大会で優勝し、県大会へ出場する仲尾次チームの皆さん

女子バレー・剣道・沖縄角力の

3種目に優勝

好成績をおさめた村チーム 国頭郡球格技大会



獲得するなど、近年にない大活躍をみせました。まず、女子バレーは広々とした東村体育館で、のびのびとしたプレーを展開。金武町チームを二対〇のストレートで下し栄冠を手にしました。剣道、沖縄角力も他を寄せつけない圧倒的な強さで優勝を飾りました。野球、江戸相撲、庭球

国頭郡体育協会主催の「第十八回国頭郡球格技大会」が、八月二三日、新装なった東村営体育館を主会場に、国頭中学、辻土名高校で行われました。大会には国頭郡の十一全町村が出場し、男女バレー、男女バスケット、庭球、卓球、江戸相撲、沖縄角力、剣道、柔道、野球（野球は八月一日、二日に実施）など十一種目に日頃鍛えた技を発揮しました。女子バスケット、柔道を除く各種目に出場した今帰仁村チームは、優勝三つ、準優勝三つを

はあと一步のところで優勝を逸しましたが堂々の準優勝。また、卓球はベスト四入り、男子バスケットならびに男子バレーはベスト八入りするなど各種目とも健闘をみせました。なお、この大会では総合優勝はありませんが、各種目より優勝チームを中心に選ばれ、十

村内遺跡詳細分布 調査にご協力を

村教育委員会では、県・国の補助をうけ、村内の貝塚や古い遺跡（人々が生活していた場所）御嶽などの分布調査を去る七月より実施しています。この事業は、土木工事、土地改良工事、住宅建設といった諸開発工事関係からそれらの「文化遺産」を保護していこうというものです。

一月二、三日の沖縄県球格技大会に派遣されます。村内からも、多くの選手が派遣されますので、これらの選手に皆さまのご声援をよろしくお願いいたします。

第2次 今帰仁城跡発掘調査 開始される
村教育委員会は五年度に続き九月一日より今帰仁城跡第二次の発掘調査を始めます。第一次発掘により、重要な発掘成果が得られました。今回も前年度に続いて志慶真門を調査します。前年度同様に調査の成果が期待されることと見られます。調査にあたっては、皆様のご協力、見学を歓迎いたします。お気軽に村教育委員会へご連絡下さい。

南米移民写真展

九月中旬中央公民館で

村教育委員会は、浦添市在住のカメラマン・比嘉憲司氏の御好意により「南米移民写真展」を開催します。

この展示は、移民した方々（今帰仁出身を含む沖縄人）が現地（ボリビア・ブラジル・アルゼンチン・ペルー）で様々な活

働する姿を捉えた写真です。村民の参観をお待ちしております。なお、開催日については九月十五・十六日を予定しています。入場は無料です。

トピックス

海と空の青さに魅せられて 今帰仁の海を満喫する小松さん

あれ——？ どこかで見たことが——？
そうです。テレビ・映画で活躍中のタレントの小松政夫さんなのです。
八月十五日午後、与那嶺にあるホテルファミテック沖繩に滞在中の小松さんを訪ねてみました。

ようになりまして。今年はいくつで三度目で、奥さんの朋子さん、一人息子の将高ちゃん（二歳）といっしょのレジャーを兼ねた家族旅行。水泳もやらず一ただ海を眺めているだけの休日を楽しんでいました。
やんばるの暖い人情にも心ひかれ、十四日（旧十五日）には、地元与那嶺のエイサーに合流。若者たちと意気投合し「泡盛を飲みすぎた」と苦笑（二日酔の苦しみはわかるのだ）「私は沖繩でもここしかこないですよ。

この海はムーンビーチや奥間ビーチよりも数段美しい」と、村民のわたしたちには嬉しい言葉が返ってきた（やはり今帰仁の海は沖繩一なのかなあ）それでも「以前に比べると少し汚れてきた」とか。
小松さんは、数日間の滞在ながら、海浜の清掃は欠かさないといっています。美しい自然に

慣れすぎていたわたしたちも少し見習いたい気がしました。
普段、テレビで拝見する「小松の親分さん」のひょうきんな姿を見ることはできませんでしたが、素顔は気さくで真面目な性格とお見受けしました。九州博多出身の彼、自然を愛する気持ちはわたしたちに負けないものがあるようです。

越地の
区長さんかわる
字越地の区長さんが八月一日付で交代しました。
これまで長い間、がんばってこられた宮里政富さんにかわり、新区長は宮里政常さん（字越地五七、TEL三三〇六）です。新区長さんに皆様のご協力を



新区長 宮里政常さん

庭木ドロにご注意

最近、庭木をコソソリ持っていくふらちな泥棒が横行しています。村内のAさんの話によりますと、庭先で千年木の大きな枝をノコで切りとられたということです。犯人は、どうも専門の業者らしいのですが、葉は木の下に捨ててあったといふこと、よけい腹が膨らんだといふこと、その外、芝生をこっそり持っていくかた——といううそのような話もあります。隣り近所気をつけあい、ふらちな庭木泥棒を追放しましょう。

居合道沖繩県大会 村上さん昨年に次ぐ快挙

個人四段の部で優勝

沖繩県剣道連盟（大里喜誠会長）主催の「第三回沖繩県居合道大会」が、八月十六日、午後二時から那覇工業体育館で行われました。この大会は、初段から四段までわかれて行われ、個人四段の部に出場した字兼次九四四の村上仁賢さん（兼次教会牧師）が昨年に続き優勝しました。

か今年も優勝するとは」と話していますが、居合道四段は県内でも最高位で、その高度な技は高く評価されています。
「国頭郡の皆さんのはげみになれば」と本人は話していますが、悩みはまだまだ居合道人口が少なく、多くの皆さんが参加してほしい、と呼びかけています。



▲松田村長(左)らと談笑する小松さん(中央)





教育委員より だよ



村教育委員会は
社会教育の一環とし
て、毎日一回中央婦
人学級を開催してい
ます。それらの学習
について、学級長の
城間恵美子さん、副
学級長の嘉陽ルリ子
さん、学級員の島袋
富美子さんに感想を
いただきましたので
紹介いたします。

興味を持てる楽しい時間

学級長 城間恵美子(呉我山四四一)

中央公民館の婦人学級員にな
ってまず始めに私にとって興味
の持てる楽しい時間になりました。
今までに部落の婦人会活動
又、PTA活動と私なりに会活
動をやってきましたが、婦人学
級は会活動とは異って年間の学
習計画によって自分なりに勉強
しなければならぬ事でありま
す。年間の学習課題については、
教育委員会で作成して学級
員の承認を得て学習をするよう

友人のさそいで参加

副学級長 嘉陽ルリ子(湧川一八五一)

私は中央婦人学級に参加して
三ヶ月になりました。家庭以外
に目を向けた事のない私は、公
民館活動等のチラシは自分にと
っては程遠いものと思ってお
りました。ところが友人からのさ
そいで中央婦人学級に参加して
みたらと声をかけられ、自分自
身不安ながら学級に参加するこ
とになりました。開講式の日に
学級の役員選出の中で婦人活動
はこれからだと云う私に副学級

目で見る社会勉強

学級員 島袋富美子(上運天四三五)

始めて中央婦人学級に入りま
したので、婦人学級では読み書
きを教え頭の体操をする所なの
かと知人に聞いた事があります。
しばらく婦人会活動に参加しな
かった私は、すっかり取り残さ
れていました。主婦会会長に進
められ私も社会勉強をするには
今がチャンスだと思ひよろこん
で学級に参加して頑張っており
ます。研修はこれで二回目です
が研修と云う言葉は固く聞こえ
ますが、やはり読み書きではなく

知識を広める社会勉強をする場
である事を知りました。市町村
の中央公民館廻りも野良仕事だ
けをしている私にとって、ただ
目を見張るばかりでむつかしい
所を発見することは出来ませ
んでしたが、私にとって得たもの
は目で見る社会勉強と新しい仲
間が増えた事でありました。こ
れからも学級の一人として仲間
りと家庭教育等に頑張りたいと
思います。

パジチ緊急調査おわる

四五〇年前から刺突

少ない 完全型

村文化財保存調査委員会はこ
れまで続けていた村内のパジチ
二次調査をほぼ終了し、パジチ
(手甲部に施した入墨)保持者
の概数及びそのパジチをした理
由などを調査確認している。
パジチ施術の習俗は現在に於
て既に無く、過去のこととなっ
ているが、完全型・不完全形の
パジチがあることは御承知のと
おりである。図1に示す完全形
の保持者は極端に少なく、図2
のようないわゆるアシビパジチ
と呼ばれる不完全形を保持して
いる人達が多く見受けられる。
完全形の保持者が少く、不完

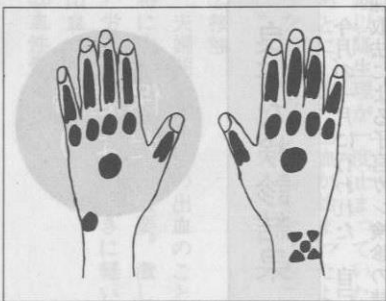


図-1 完全型のパジチ例

全形のそれが多いのは年令の高
層化と無縁ではないが、何より
もその原因を為すのは明治三
二年(一八九九年)の入墨禁止
令によるものと言われる。
すなわち、明治三二年以前に
生まれた婦人に、完全形のパジ
チがある可能性が秘められてい
るが実態調査の結果は意外であ
った。詳しくは報告書で明らか
になるが、調査でわかった完全
形保持者はたったの二人であつ
た。(その内の一人は調査終了
後に亡くなられた)。
また、三二年以後に生まれた
方々に完全形は全つた見られ
ず、不完全形のアシビパジチと
呼ばれるのが数多く見られた。
不完全形のそれが多いのは、警
察権力による強力な取締りがな
されたことにもよるものである。
パジチの存在を遡る古い記録
は十六世紀(一五三四年)に著
された書「陳侃便録」(明代の
冊封使、陳侃が著す)に「婦人
は真に墨を以て手にイレズミ:
……云々」と記され、当時すで
にパジチ習俗が存在していたこ
とを伺わせる。この記録が真実
を伝えているとすれば、約四五

〇年前には既に在ったと言えよ
う。
以下、調査結果を概略してい
たい。

全体像が 明らかに

調査方法としては先ず、調査
項目を多く設定し、パジチが行
なわれた時代情況及びその刺突
理由を析出する目的で行なわれ
た。これまでの調査結果から、
次のようなことがわかつてい
る。
すなわち、誰が刺突したかを
みると、①パジチャーと呼ばれる
職業的な施術者が存在したこ
と。②母親や姉達が施術される
のを見し、それ故友人等と遊
び半分に相互で行なった。③興
味本位で自から針束を持ち、自
分で行なった等々の事が明らか
になっている。

また、どうしてパジチをした
かの問いには、①シトビレー
(嫁先での姑との家族和)が円
滑にいくから、②トウ・ヤマ
トへ連れて行かれるから、③親
が刺突されるのを見て、などが
主な理由であった。
しかし、これらの理由も被調

査者が幼少の頃聞かされた記憶
と自ら積極的に思いこむかたち
の混在化がみられるものであつ
た。また、施術用具や入墨用材
料は、①縫い針を一〇本一五
本位束ねたもの、②一本二本で
突いたなどであった。材料は藍
汁、墨汁といった生活に即した
原材料である。パジチに関する
歌も幾首がある。

①初針突すうしや 我んたまし
再針突からや 夫ぬたまし
②あんまあた い すうーたい
銭五貫ん借らし 針突大工頼
んで 針突かかさ

といったかたちで表われ、パ
ジチ行為が娘ごころに大変な重
みとなって羨望心をかきたてて

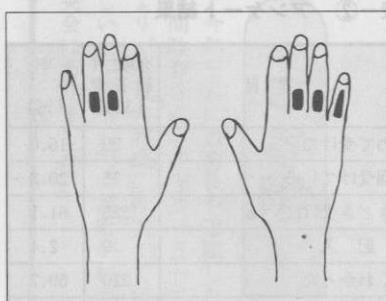


図-2 不完全型のパジチ例

やまなかつたことの心情が伺え
よう。
設問はパジチの全体像を明確
化するため、できる限り多く設
定した。すなわち、①針突者の
呼称 ②被施術者の家の性格
③施術年令 ④回数 ⑤場所
⑥施術後の処置 ⑦痛みを憶え
る工夫 ⑧療養と労働との関係
⑨儀礼 ⑩パジチの歌 ⑪模
様の呼称 ⑫受けた冷遇 とい
った様々の問いを設定、調査を
実施してきた。

遂次報告 書を刊行

これまでの調査結果より、現
在、完全形保持者は一人である。
他は不完全形のいわゆる遊びパ
ジチが圧倒的であった。調査後
に逝去され、あるいは対象予定
者が調査に及ぶ時点で亡くなつ
たりといった極めて緊急を要す
る調査であった。

調査の詳しくは、緊急調査報
告書として逐次刊行していく予
定です。調査に御協力くださつ
た関係者それぞれの方に紙上で
もって厚くお礼申し上げます。
今帰仁村教育委員会
文化財担当 松田朝雄



子宮ガン検診の結果について

良好な検診結果

今月の一月に行われた、自己採取法による子宮ガン検診の結果についてご報告いたします。

全体的な報告が遅れたことをおわびしなければなりません。個々人への結果の通知は、約一カ月後には届けられ、それぞれ治療を要する方は済まされているものと思えます。

要精検者は全体の〇、五%

まず、年齢別の受診率と、その結果をみて下さい。表①
この検査の結果、受診者五十六名の中から精密検査を必要とする人が四名発見されました。手術を要した方が三名で、いずれも初期で見つかっています。受診者の約〇、五%の発見率です。本土平均では集団検診による発見率は〇、二%前後といわれていますので、今婦仁村の〇五%はいささか高く約二倍以上に相当します。

しかも注目すべきことは、そのいずれもが六一歳以上の婦人だということ。六〇歳あるいは七〇歳代で発見されるということは、子宮ガンの潜伏期が意外に長いということがいえますので安心はできません。「年だからもう私は大丈夫」などと考えずに積極的に受診することが、いかに大切なことかがおわかりになるでしょう。

発病率の高い年齢層とは

今回の検診での要精検者は六一歳以上の方ばかりでしたが、本土全体でみると四〇代の婦人が多く、ついで五〇代、三〇代の順なので、更に多くの方々が検診を受ければ、あるいは初期のガンがもっとみつかるかも知れません。

アンケート調査の結果 表②

この結果から、自己採取法による子宮ガン検診について、器具の説明はよくわかり、器具の使用についても簡単と答えた人が圧倒的であり、恥ずかしくないのでこの方法がよいと答えた方が三三%以上おりました。自己採取による子宮ガン検診の検査結果は以上のとおりです。



今年三月に教育長を退職した上間政春さん(字今泊一五一)より、後輩の育成に役立ててほしいと、三十万円の寄附が村育英会にありました。

香典返し

字仲宗根二七八の吉田光正さんより、先ごろ亡くなられた母親ウシさんの香典返しとして、十萬円の寄附が村社会福祉協議会にありました。さらに、村老人クラブへも五萬円寄附されています。

ご寄附

今年三月に教育長を退職した上間政春さん(字今泊一五一)より、後輩の育成に役立ててほしいと、三十万円の寄附が村育英会にありました。

農道がきれいに 嵐山ライン組合が 草刈作業 道路を守る運動として

八月一日から三十一日までの道路を守る月間運動の一環として、湧川嵐山ライン生産組合(津波古清吉組合長)では、八月二日、村道嵐山線(延長五、〇〇メートル)の草刈り作業を実施しました。作業には、四五人の全組合員が参加し、午前九時から午後五時まで、道路の両側の長くのびた雑草をきれいに刈り取りました。

嵐山線は、農道としての機能だけでなく、最近では観光道路としての利用度も高く、「村の観光美化運動にもなる」と関係者から歓迎されています。

同組合では、年二回にわたり草刈作業を実施しているのと、組合員の皆



▲嵐山線の草刈りを行う組合員の皆さん

さん、暑い日差しの中での奉仕作業、お疲れさまでした。

表① 村内の子宮ガン細胞診成績

年齢	受診者数	異常なし					検査不能	要受診者の所見 ※							
		PC I	II	III	IV	V		トリコトモナス	キヤンタ	炎症	老人性炎症	その他	計		
25才以下	1	1													
26才~30才	30	26	4					1	1						2
31才~40才	117	95	21	1				2	3	5			1		11
41才~50才	176	142	34					4	2	5	1				12
51才~60才	158	120	38					2	1	2	7				12
61才以上	80	66	11				3		1		2				3
年齢不明	2	2													
合計	564	452	108	1			3	9	8	12	10		1		40
受診者に対する	100	80.2	19.1	0.2			0.5	1.6	1.4	2.1	1.8		0.2		7.1

が、何か疑問の点がありましたら保健婦までお問い合わせ下さい。

子宮ガン状態の進行

〇期：ガンが子宮頸部のごく表面に限られている時期
I期：粘膜からさらに奥の組織に達しているとき
II期：子宮頸部を越えてさらに周囲に広がりはじめるとき
III期：骨盤まで達したり、腔の%以上がおかされているとき
IV期：骨盤の外にまで飛び火しているとき
V期：パニコロウ分類では、クラスIII、IV、Vと出たものからより精密な検査の結果、前記のいずれかに分類されることが多い。

主な症状について

- ①不正子宮出血
生理以外の出血のこと。更年期以降生理が一度止まっていたあとに、また出血が始まったような時にも必ず診察を受けること。
- ②接触
夫婦関係のあとの出血のこと。特に中年の婦人では重要。激しい労働や、りきんだときに軽い出血をみることもある。
- ③血性帯下

ピンクや茶褐色、ときに黒褐色のおりものがふえることがある。

集団検診の受診

広報六月号に掲載したとおり、〇期で発見されれば%治ります。症状があつて病院を訪ねる人よりも、自覚症状が全くない時期に集団検診で受診する方がはるかに〇期ガンの発見は高いことがわかっています。
症状が現われれば、それだけ病気が少しずつ進んでいるとも考えられます。

次の検診は 九月・十一月

今婦仁村では、婦人会が主催する集団検診車による検診が年三回、県の後援する自己採取法による無料検診が今年度も引き続き、十一月頃に実施される予定です。
忙しい！自分は大丈夫！などと言わず、次の検診にはぜひ積極的に検診を受けましょう。気になる症状があれば、ひとりで悩まず、ぜひ病院の門を叩いて確かめて下さい。又ご相談したいことがあれば、いつでも保健婦へご連絡下さい。お待ちしています。



上間カズさん 人権擁護局長より表彰

人権擁護委員の上間カズさん(字上運天四一八)が、八月十九日、法務省人権擁護局長より表彰されました。表彰は、国民

今年三月に教育長を退職した上間政春さん(字今泊一五一)より、後輩の育成に役立ててほしいと、三十万円の寄附が村育英会にありました。

今帰仁村の人口(昭和56年7月31日現在)

なきじん版

9月1日～10月2日

村民カレンダー



9/1 火	○健康体操 (20:30、仲宗根公民館)	17 木	○高齢者学級 (14:00、中央公民館) ○三歳児健診 (13:00、役場ホール) ○健康体操 (20:30、上運天公民館)
2 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)	18 金	○乳児相談 (13:00、役場ホール)
3 木	○健康体操 (20:30、上運天公民館)	19 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
4 金		20 日	
5 土		21 月	○区長会 (14:00、役場ホール)
6 日	○村農業委員選挙告示	22 火	○健康体操 (20:30、仲宗根公民館)
7 月	○区長会 (14:00、役場ホール)	23 水	○秋分の日
8 火	○健康体操 (20:30、仲宗根公民館)	24 木	○村公民館連絡協議会研修会 (14:00、中央公民館) ○健康体操 (20:30、上運天公民館)
9 水	○家庭教育学級 (14:00、天底小) ○中央青年教室 (19:00、中央公民館) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)	25 金	○村農業委員会定例会 (10:00、中央公民館)
10 木	○人権相談 (10:00、中央公民館) ○健康体操 (20:30、上運天公民館)	26 土	○中央婦人学級 (14:00、中央公民館) ○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室) ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場)
11 金		27 日	
12 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)	28 月	○成人病検診 (9:00~16:00、今泊公民館)
13 日	○南米移民写真展 (9:00~17:00、中央公民館、15日まで) ○村農業委員選挙投票日 (7:00~18:00、村内各投票場)	29 火	○成人病検診 (9:00~12:00、兼次公民館、13:00~16:00、諸志公民館) ○健康体操 (20:30、仲宗根公民館)
14 月	○村畜産共進会 (9:00受付、10:00~村家畜セリ市場)	30 水	○成人病検診 (9:00~12:00、与那嶺公民館、13:00~16:00、仲尾次公民館) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)
15 火	○敬老の日 ○老人福祉週間 (~21日)	10/1 木	○成人病検診 (9:00~12:00、崎山公民館、13:00~16:00、平敷公民館) ○健康体操 (20:30、上運天公民館)
16 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場)	2 金	

■ 恒例となった「第二回今帰仁村まつり」は、皆様の協力で盛大に開催することができました。次年度は益々充実したまつりにするよう一層のご協力を。

■ 先の豊見城村による「町制移行」へのアンケート調査で、村民の五七%が「NO」の表明をしたといえます。これは、たとえ村であっても、町や市以上の自信と誇りを持っている、とのことだそうです。以前に本村でも町制移行の話が持ちあがりました。これは先の国調で、人口が一万人を割ったためたちぎれになりました。今後、人口を増やす施策を講ずるのは当然のことですが、住みよい豊かな地域づくりには、市、町、村という呼称は関係ない——と云えるのではないのでしょうか。緑濃き自然と人情味豊かな村民性は、永遠に変わらぬものであってほしいと思います。

■ 期せずして今月号は解説記事が多くなりました。次回に向けて気持ちを新たに頑張ります。

編集後記

